

平成29年12月20日

香川大学経済学部学生プロジェクト「なえどこ」が「地方創生☆政策アイデアコンテスト2017」で最優秀賞(地方創生担当大臣賞)に輝きました。

内閣府地方創生推進室が主催する「地方創生☆政策アイデアコンテスト2017」の大学生以上一般の部(応募総数647件)において、香川大学経済学部学生プロジェクト「なえどこ」が応募した作品が、最優秀賞(地方創生担当大臣賞)に輝きました。

今回受賞した「なえどこ」の応募作品は、財務省四国財務局「地方創生支援のための若手プロジェクトチーム」が、地域経済分析システム(RESAS:リーサス)の普及と大学生との連携強化のための施策として、RESASの使用方法をはじめ資料作成、論理構成のノウハウを指導するなどの支援を実施したものです。今後、この地域活性化策の実現に向けて取り組んでいきます。

【コンテスト概要】

地域の現状・課題について、「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」を使って分析し、その上で解決策となるような政策アイデアの提案を募集。地方予選、全国第1次審査を経て最終審査会(プレゼンテーション審査)が実施され、地方創生担当大臣賞など表彰作品が選定されるもの。

【香川大学経済学部学生プロジェクト「なえどこ」】

香川大学経済学部で推進している学生チャレンジプロジェクトの一つ。地域で何かやりたいと思う学生達が集う「学び合える場づくり」を目的に、2012年から活動を開始。
香川大学HPでの公表文 <http://www.kagawa-u.ac.jp/topics/student/19851/>

【なえどこの応募作品】

テーマ	小豆島×迷路民泊×空き家～空き家が島の宝に！？ 迷路民泊を起点とした観光振興で小豆島がもっと元気に！！～
分析対象自治体	香川県 土庄町・小豆島町
応募者	高橋このみ、多田安里、杉山愛美、芳原農祐 (応援隊:財務省四国財務局「地方創生支援のための若手プロジェクトチーム」)

【財務省四国財務局「地方創生支援のための若手プロジェクトチーム」について】

財務省四国財務局の若手職員が、地方創生支援を目的に自発的に立ち上げたプロジェクトチーム。地方創生フォーラムの開催など、自治体や大学生等と連携して活動中。

なお、本コンテストの詳細等については、下記のサイトをご覧ください。

・「地方創生☆政策アイデアコンテスト2017」

<https://contest.resas-portal.go.jp/2017/>

・「地方創生☆政策アイデアコンテスト2017」の結果について

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/resas/pdf/h29-12-18-press_idc.pdf

(参考)

土庄町HPでの公表文 <http://www.town.tonosho.kagawa.jp/tns/info5032.html>